

プレス公表（運転保守状況）

2015年7月9日

No.	お知らせ日	号 機	件 名	内 容
①	2014年 9月4日	4号機	残留熱除去系電動弁の不具合について (区分Ⅲ)	<p>(発生状況) 2014年9月3日、定期検査中の4号機の中央制御室において、残留熱除去系電動弁手動全開全閉試験（A系）のため当社社員が格納容器冷却流量調節弁の全開操作を行っていたところ、電動弁の過負荷を示す警報が発生したことから操作を中断しました。現場確認の結果、当該弁は中間開度（約27パーセント開）であることを確認しました。 このため、定例試験を中止しました。</p> <p>(安全性、外部への影響) 現在4号機の原子炉に燃料は装荷されておらず、残留熱除去系に関わる保安規定上の機能維持の要求はありません。また、外部への放射能の影響はありません。</p> <p>(対応状況) 当該電動弁が中間開度で停止した原因の調査として、当該電動弁の開閉操作による再現性確認や電源装置の健全性確認などの調査を実施しました。その結果、当該電動弁や電源装置に異常はなく、再現性は確認できなかったため、動作不良が発生した原因の特定には至りませんでした。しかしながら、事象発生当時に電源装置の異常を検知する部位に動作した形跡がないにも関わらず、検知部が動作したことを示す表示灯が点灯していたことから、電源装置内部の制御回路に何らかの原因があるものと推定しました。 このため、当該電源装置については、念のため予備の電源装置と交換し、異常がないことを確認しております。</p>
②	2015年 7月8日	大湊側 共用設備	大湊側焼却建屋におけるプロパンガスの微量な漏えいについて（区分Ⅲ）	<p>(発生状況) 2015年7月8日午前10時40分頃、雑固体廃棄物焼却設備プロパン庫において、雑固体廃棄物焼却設備燃料系（プロパンガス）供給配管（A系）圧力計取付け部の点検後の漏えい確認をしていた協力企業作業員が、配管溶接部から微量なガスの漏えいを確認しました。また同B系について確認したところ、同様に圧力計取付け部の配管溶接部より微量なガスの漏えいを確認しました。 漏えい箇所については速やかに隔離弁を閉めたことにより、供給元となるボンベからの漏えいは停止しました。本件は、高圧ガス保安法の報告事象に該当することから新潟県防災局へ報告しました。</p> <p>(安全性、外部への影響) 漏れたガスには放射性物質は含まれておらず、外部への放射能の影響はありません。</p> <p>(対応状況) 今後、原因調査を行うとともに、当該箇所については補修を実施いたします。</p>